兒雷也豪傑譚（じらいやごうけつものがたり）

上の巻

四十弐編

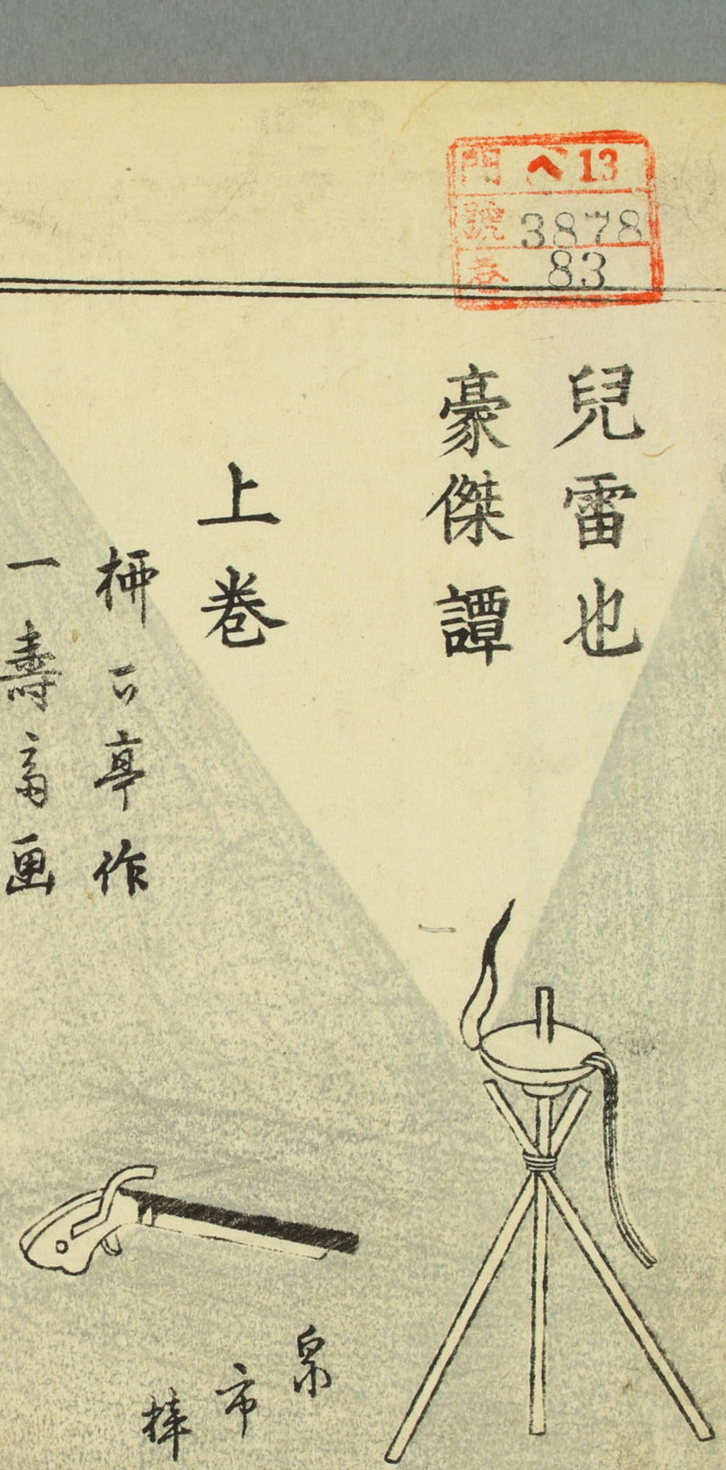
へ13
3878
83

門へ13
號3878
巻83

兒雷也豪傑譚

上巻

柳水亭作
一壽斎画



泉市
梓

天機を漏せしなれば似たるこそ。這神史の大團圓ふ兒雷也をとりて。素盞烏尊に譬へ大蛇丸を八又乃物ちゝ比較ふ。綱手を稲田姫ふ效べんとハ山綱手女を稲田ひめふ比せる所謂。田の妻ハ稲妻なるにまと田と五音通ふとりて。馬琴めいとく強付たり。盜小亦符説ちゝふ思ふ緯あり。雷字ハ雨の冠乃下に田の字を書記録ふ。音デンなるゝん欽。世上の通音然ハ無而電乃音ふデンと奪つる。憶惜哉と云てもうくゝ。雷尊荷擔ふ剣の刀と微の畑をぞ。兒雷也刀称ふ脱へんと。持氏公ふ願言七豆州河津庄を扶持ハ蛙ふ訓の通ばあり。と故師種員の義稿もありりゝ。せゝらんと推量ど。これもくゝぬ泉下の客。徒電の尾ふ把着こゝもせゝらをて序をるゝ。

元治二乙丑春

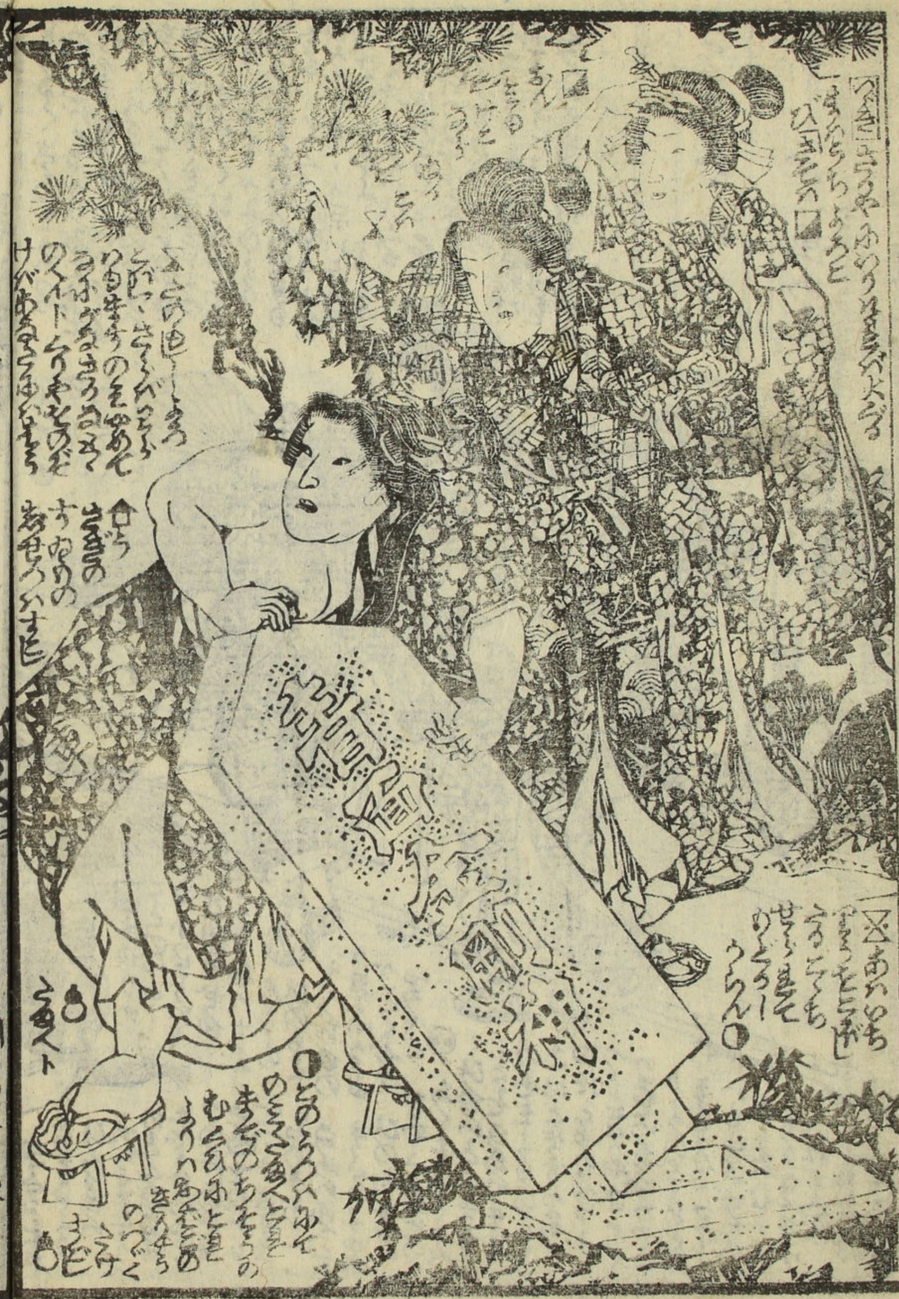
柳水亭種清

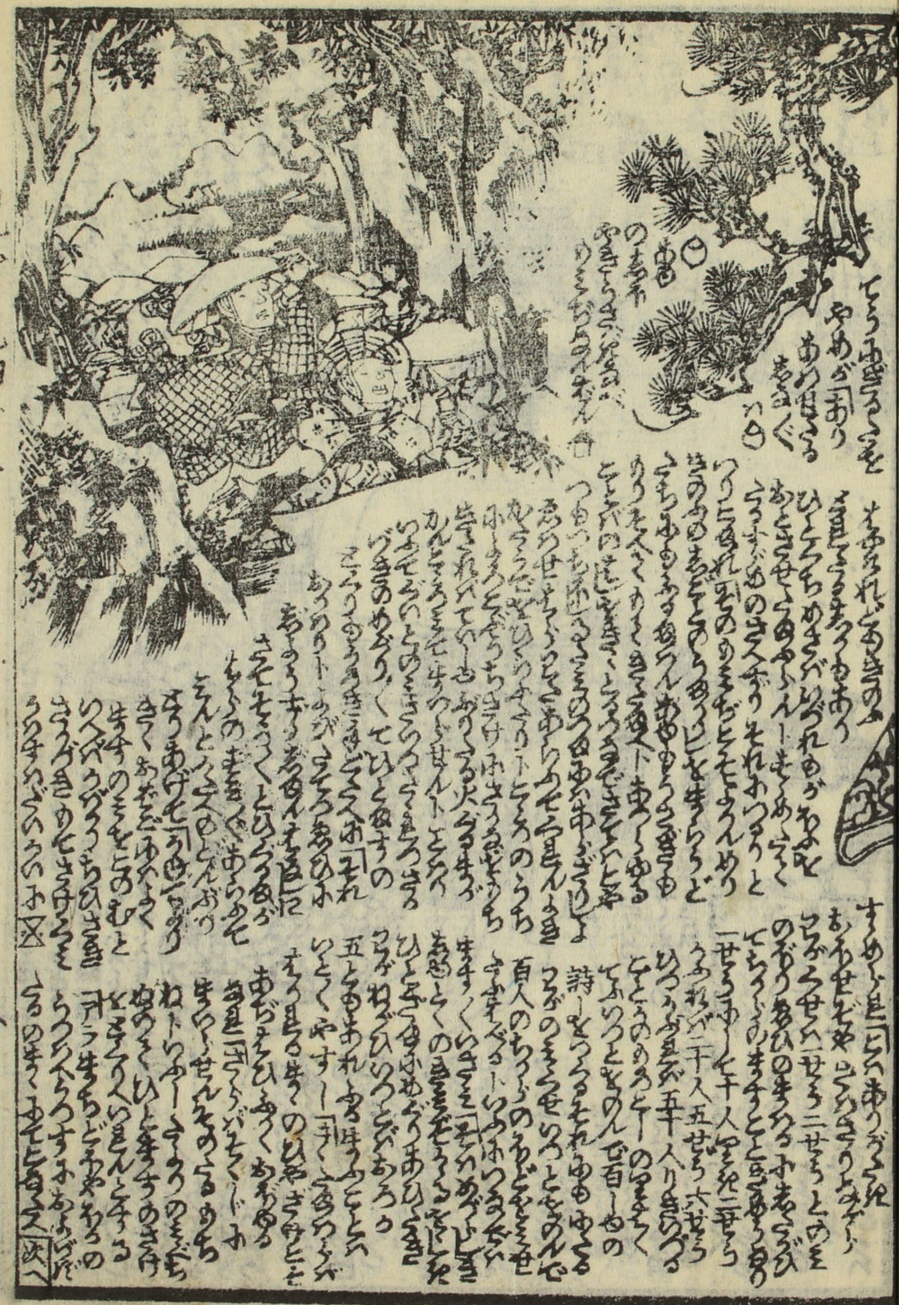
強勇婦
猫鬼火車

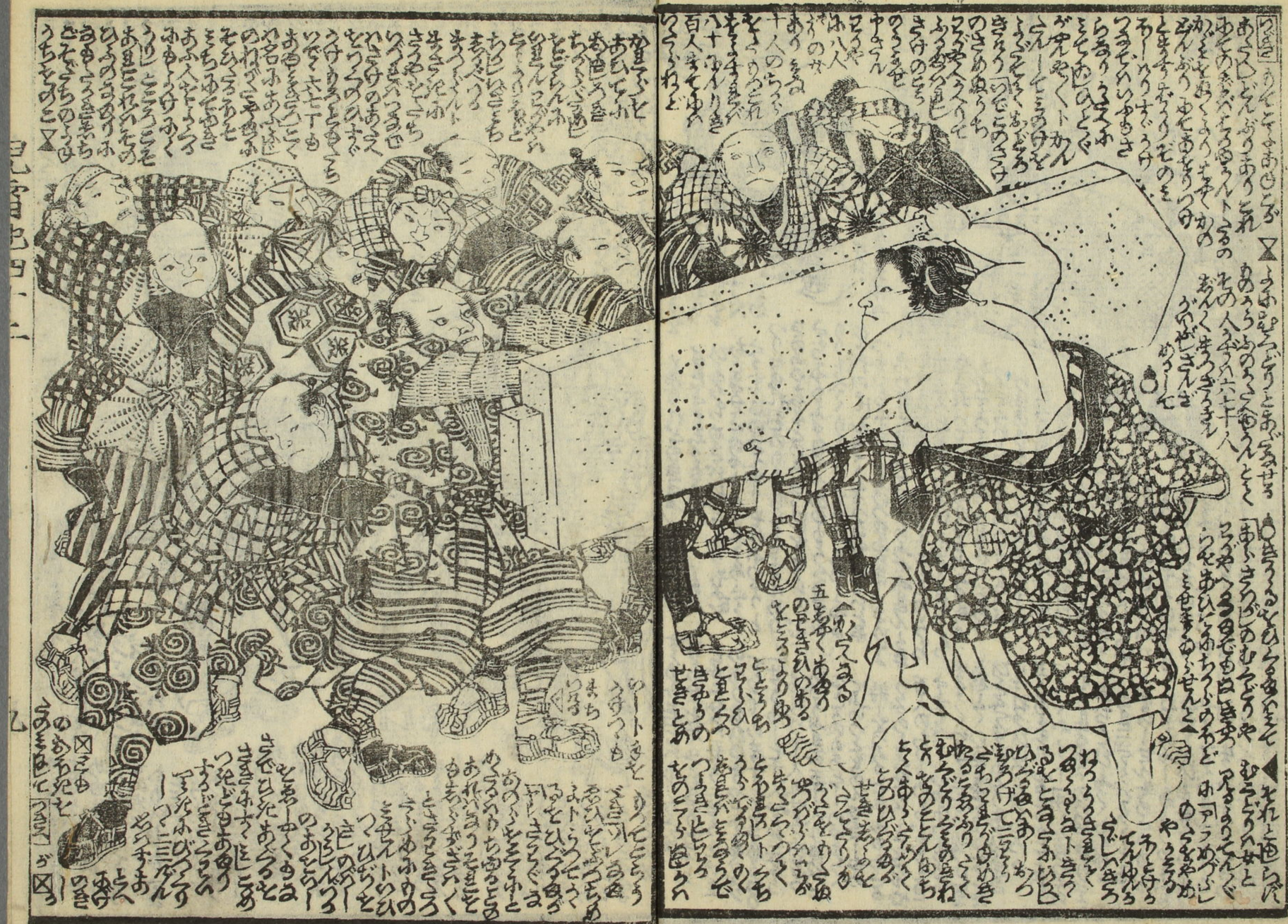
羽衣織衛娘
絲遊

四十一ぺんのつゞき

○四十一ぺんふとゝ



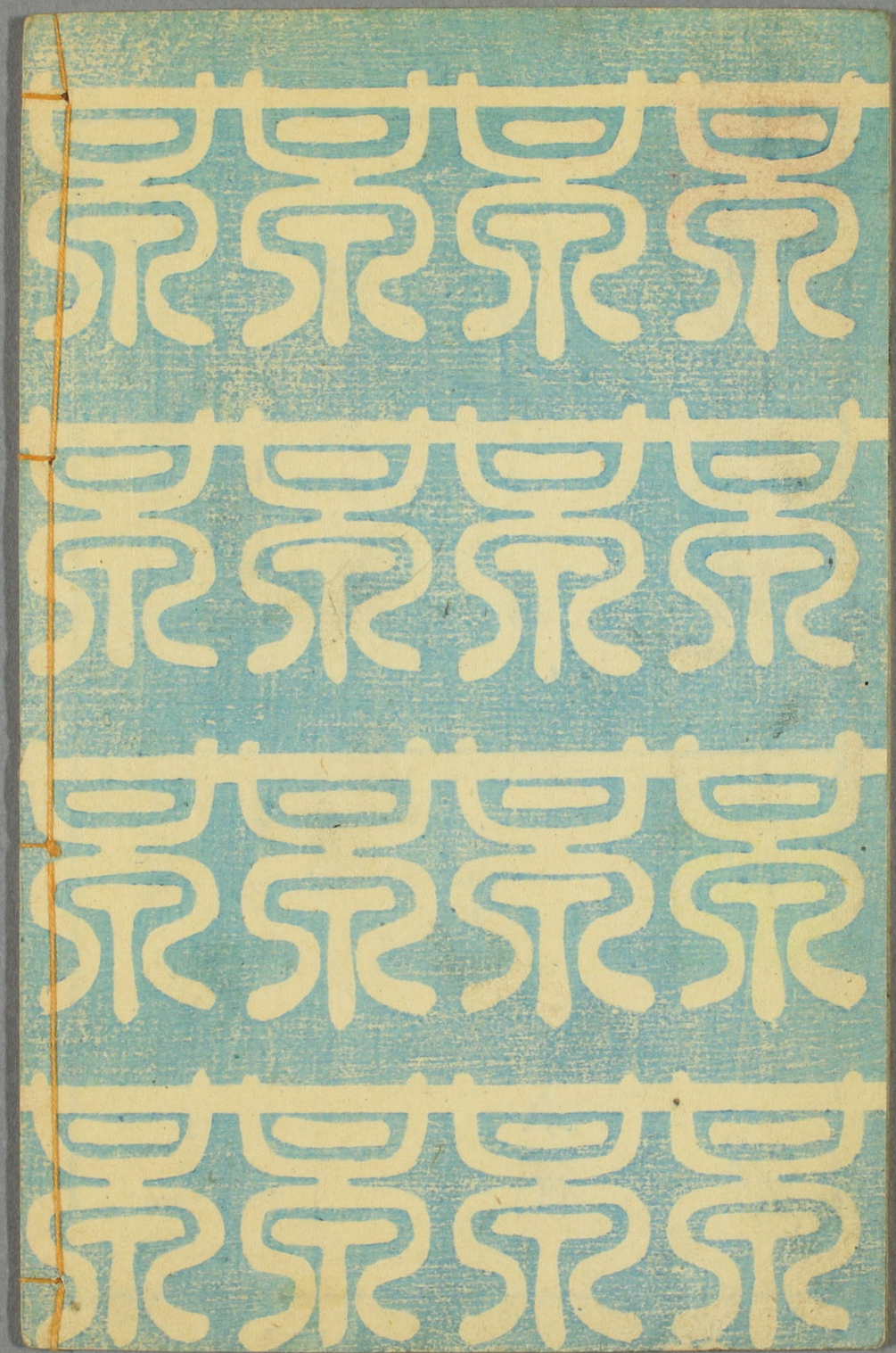




一 兒雷也豪傑譚 四拾弐篇

一 休草紙 拾五篇

一 風俗淺間嶽 拾壱篇

一 黄金水大盡丸 拾七篇

書肆 地本問屋
芝神明前 和泉屋 市兵衛
銀座四丁目 同 支店